

なら歴史芸術文化村開村一周年記念  
奈良ゆかりのアーティスト交流プログラムvol.4



時空を  
つなぐ  
回路


松井紫朗

2023  
3.21(火・祝) — 4.23(日)

会場 | なら歴史芸術文化村(芸術文化体験棟・文化財修復・展示棟)  
山辺の道周辺地域(石上神宮・内山永久寺跡・釜の口山長岳寺・世界遺産 元興寺150音順)

主催 | なら歴史芸術文化村

協力 | 石上神宮 釜の口山長岳寺 古梅園 世界遺産 元興寺 天理市木室町(50音順)

 なら歴史芸術文化村

# 穴のむこうをうかがう

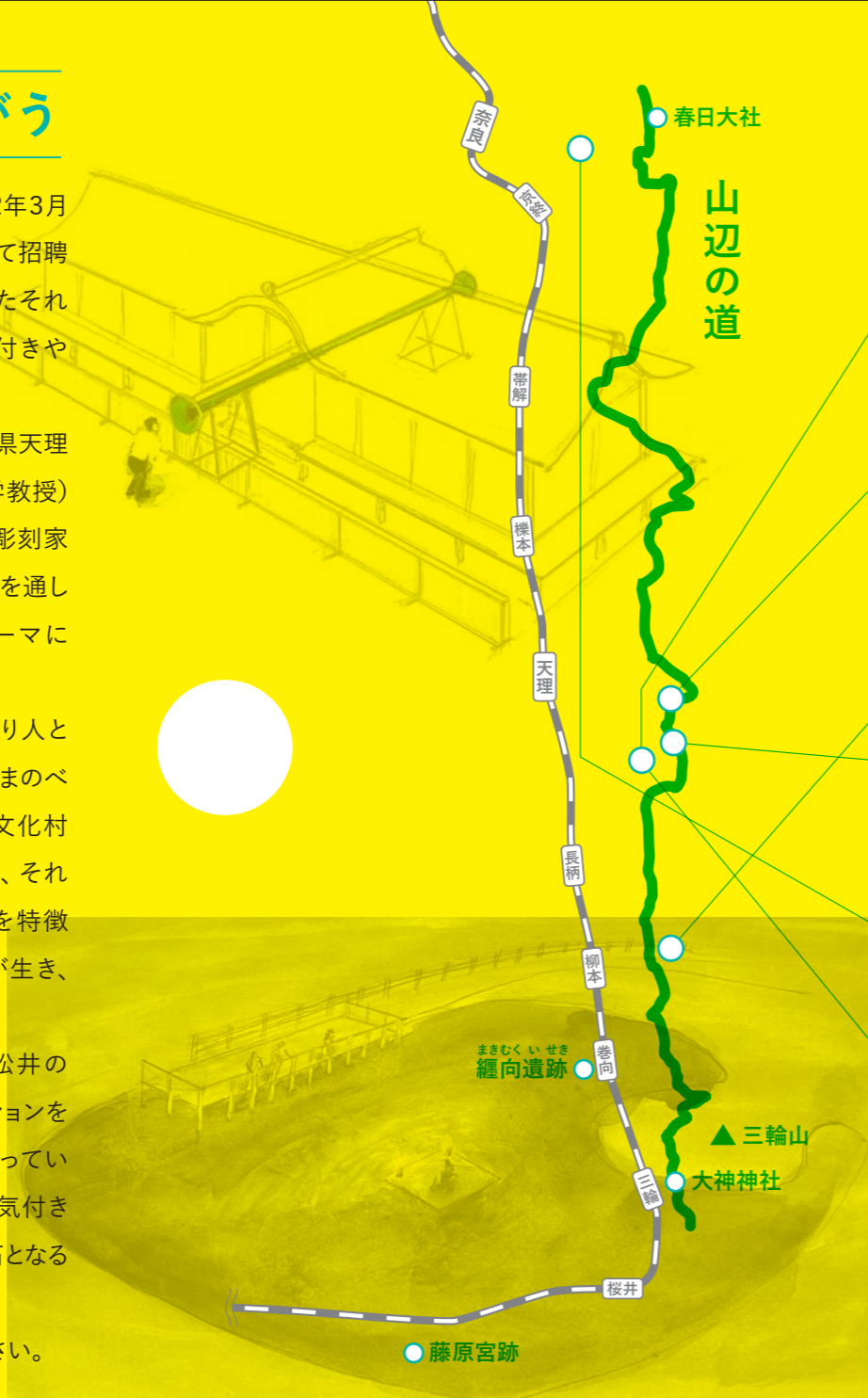
なら歴史芸術文化村(文化村)は、2022年3月の開村以来、多様なアーティストを継続して招聘してきました。奈良を独自の視点で捉えたそれぞれの表現活動は、来村者に新鮮な気付きや感動を与えています。

このたび、開村一周年を記念して、奈良県天理市出身の松井紫朗(現京都市立芸術大学教授)を招きます。松井は、1980年代半ばより彫刻家としての活動を開始し、一貫して作品鑑賞を通じた新しい時間と空間の経験の創造をテーマに活動を続けてきました。

今回は、奈良盆地の東端、上古の頃より人と歴史を結び付けてきた古道「山辺の道(やまのべのみち)」を対象とする制作を行います。文化村を拠点に、道沿いに点在する社寺や遺跡、それとともにある歴史や物語を松井の作品を特徴づける「穴」を通してほりおこし、私たちが生き、活動する現代に接続するという企画です。

各会場には、多様な「穴」にまつわる松井の作品があります。それらは鑑賞者のアクションを誘発し、より深い鑑賞へと導くしかけになっています。松井作品を体感することで新しい気付きを得、その経験がそれぞれの未来への布石となることを期待します。

早春の山辺の道へ、ぜひおでかけください。



## 序章：穴の入り口～なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟3F/文化財修復・展示棟B1展示室

申込不要

芸術文化体験棟では、松井が設けるさまざまな「穴」がどのように機能するのか、その使い方が示され、また、文化財修復・展示棟においては、その穴を通して遥か昔の人々の心にアプローチする方法が伝授されます

芸術文化体験棟には、松井がこれまで制作してきた穴にまつわる作品を5点展示します。また、文化財修復・展示棟では、開村一周年記念展「山辺の道」出陳の「盾持人埴輪」(天理市所蔵)と「海獣葡萄鏡」(石上神宮所蔵)の2点の展示について、穴が設けられます。

会期 | 3月21日(火・祝)～4月23日(日)  
※文化財修復・展示棟は5月28日(日)まで月曜休館  
時間 | 9:00～17:00  
料金 | 無料

## 第一章：遠き日に思いをはせる～石上神宮 摂社 出雲建雄神社拝殿(国宝)

申込不要

出雲建雄神社拝殿に開けられた馬道が、さまざまな時空に通じる望遠装置となります

石上神宮は、日本最古の神社の一つで、6世紀に権勢を誇った物部氏の氏神。摂社 出雲建雄神社拝殿は、明治期に廃寺となった内山永久寺から後にこの石上神宮境内に移されました。その拝殿に設けられた馬道に、遠くをうかがうための筒状の穴を設置します。

会期 | 3月21日(火・祝)～4月23日(日)  
4月1日(土)、15日(土)は、月次祭のため展示していません  
時間 | 随時(社務所は9:00～17:00)  
料金 | 無料

## 第二章：天地を結ぶ～釜ノ口山長岳寺 旧地藏院(庫裏)(重要文化財)

申込不要

昔も今も変わらぬ人の心の淵をのぞき見します

長岳寺は、平安時代に空海によって創建された真言宗の寺院です。本尊は阿彌陀如来像(玉眼の技法を用いた日本最古の仏像)で、寺には狩野山楽の筆とされる「大地獄絵」が伝わり、本堂にこの二極、極楽と地獄が会しています。長岳寺旧地藏院(庫裏)に残される古備前大甕に穴を設置します。

会期 | 3月21日(火・祝)～4月23日(日)  
時間 | 9:00～17:00  
料金 | 拝観料要

## 第三章：芭蕉葉の夢～内山永久寺跡本堂池

申込はWEBから

唯一残された本堂池を穴と見立て、謡「芭蕉」に導かれながら当時の栄華を偲びます

内山永久寺は、永久年間(1113～1118年)に鳥羽天皇の勅願により創建された壮麗な伽藍を誇る大寺院でしたが、明治期に廃寺となりました。現在は、浄土式庭園の名残として本堂池のみがそこにあります。

会場 | 内山永久寺跡本堂池  
日時 | 4月2日(日) 17:00～18:00  
※荒天の場合中止  
出演 | 謡：金春康之 笛：赤井要佑  
演目 | 「芭蕉」  
定員 | 約100名(申込制) 料金 | 無料

## 第四章：手に取る宇宙～元興寺茶会 元興寺小子坊

申込はWEBから

享保年間の日本に降り立つ愛と力の象徴である象、驚きを人々にもたらしながら進むその象の旅を遥かな頂から眺める富士、そしてそれら顛末を包むように見届ける宇宙。一塵法界の心地が腑に落ちる茶会です

元興寺は、もともと聖徳太子・蘇我馬子が仏教の興隆を目的に建立した日本最古の二寺、斑鳩・法隆寺、飛鳥・法興寺(飛鳥寺)の一寺であり、平城京遷都に伴い飛鳥から移されました。今日までさまざまな出来事を見守り続けています。

日時 | 4月16日(日)  
①9:00～②10:30～③12:00～  
④13:30～⑤15:00～  
定員 | 各回10名程度(申込制)  
料金 | 2000円(別途元興寺拝観料が必要)

## 最終章：穴の不思議～なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟3F/文化財修復・展示棟B1展示室

申込はWEBから

松井を惹きつけてやまない「穴」についてのお話をします

会期の最終日に、アーティスト本人によるギャラリートークを、ツアー形式で行います。アーティストのこぼれ話を直に聴き、穴のかなたに奈良がつむいできた長い時間と、現在の自分を重ね合わせ、未来に思いをはせてみるのはいかがでしょう。

日時 | 4月23日(日) 14:00～15:00  
定員 | 10名(申込制)  
料金 | 無料

松井紫朗  
website



手に取る宇宙  
website



申込はこちら





### なら歴史芸術文化村

所在地 | 〒632-0032 奈良県天理市杣之内町437-3

アクセス | JR・近鉄天理駅より直行バス、直行デマンドシャトル運行(有料)  
奈良交通バス「勾田」下車徒歩15分

お問合せ | TEL 0743-86-4420 (代表)  
<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>

助成 | 令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業  
design | 藤本敏行 photo | 福永一夫

